

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】旭市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
18	2007.3.29			千葉県	旭市	70,643	129.9
構想の要約		都市部近接のメリットを生かして力強く発展している第一次産業から産出されるバイオマス資源と食品産業からの食品加工残さなどの利活用を推進し、環境保全型、循環型地域システムの構築を推進するとともに、市内各地域が調和し市民すべてが実感できる「バイオマスタウン」形成を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1. BDF利活用(菜の花プロジェクト) 2. バイオガス化の推進(家畜排せつ物、剪定枝等利活用) 3. 事業系食品バイオマス飼料化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○	
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など				
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.05.11	2007.3.29バイオマスタウン構想公表(JORA協力。BTアドバイザー研修地)
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成18年度、(有)プラトピック千葉、食品廃棄物飼料化施設等の整備

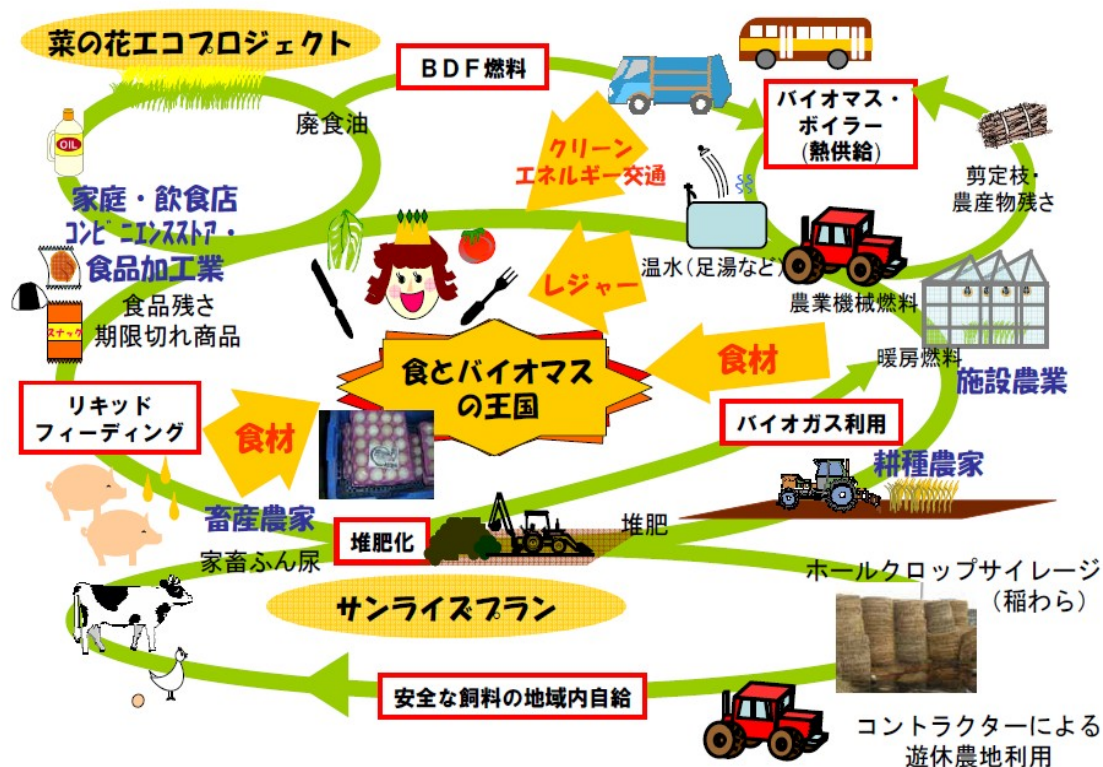
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	現利用率 (%)	今後の方向性
廃棄物系バイオマス		
家畜排泄物	95	現在の利用水準を維持するとともに、サンライズプランの拡大推進など利活用の高度化を進める。
生ごみ	0	現状では、一般廃棄物として家庭系及び事業系とも100%焼却処分されている。今後は熱利用ほか、カスケード利用（多段階的）を図ることにより環境負荷を軽減できると思われる。広域処理の問題と併せ、今後の課題として検討する。
食品加工残さ	43	リキッドフィーディング等の推進により、短期的には利用率を50%に上昇させる。
廃食用油（事業系）	0	現状では、ほぼ焼却処分されている。今後は熱利用等を図るとともに、菜の花エコプロジェクトの進展を踏まえて、100%の利活用を目指す。
廃食用油（家庭系）	0	現状では、ほぼ焼却処分されている。今後は熱利用等を図るとともに、菜の花エコプロジェクトの進展を踏まえて、100%の利活用を目指す。
製材残材	86	現状では86%の利用率だが、今後、より一層の高度化利用を検討する。
建設発生木材	44	今後、検討を進める
せん定枝	71	クリーンセンターで処理されているが、より一層の循環的利用を検討する（小規模熱利用など）
公園刈草	71	クリーンセンターで処理されているが、より一層の循環的利用を検討する（小規模熱利用など）
下水（脱水汚泥）	100	現状では100%の利用率だが、今後、より一層の高度化利用を検討する。
農業集落排水汚泥	100	現状では100%の利用率だが、今後、より一層の高度化利用を検討する。
未利用バイオマス		
林地残材	0	現状では有効利活用されていないため、里山対策等と併せて今後、利活用を検討する。
稲わら	87	現状の利用に加え今後、より一層の高度化利用を検討する。
もみ殻	61	現状の利用に加え今後、より一層の高度化利用を検討する。
野菜等非食部	0	現状ではすきこみや焼却処理など、有効利用されていないため、飼料化して有効利用する。
果樹せん定枝	0	現状では有効利活用されていないため、街路樹せん定枝等と併せて今後利活用を検討する。
間伐対象木	0	現状では有効利活用されていないため、里山対策等と併せて今後、利活用を検討する。
被害木	0	現状では有効利活用されていないため、里山対策等と併せて今後、利活用を検討する。

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)